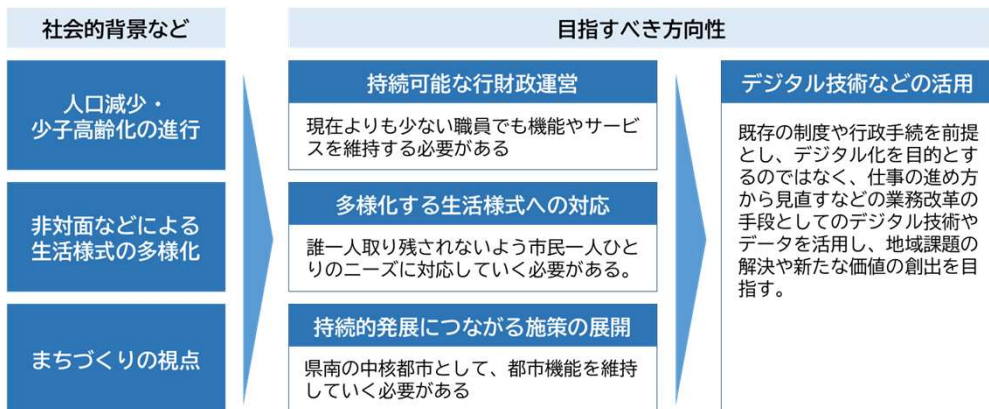


久留米市デジタル政策基本方針 概要版

久留米市デジタル政策基本方針は、
■業務改革を踏まえて的確にデジタル技術やデータを活用していくこと
■久留米市の組織や職員が意識して取り組んでいくこと

策定にあたって



策定の趣旨

中長期的に「目指す姿」とそれを実現するために組織や職員が心がける「取り組む姿勢」を明確化し、デジタル技術やデータを活用したデジタル政策を推進

方針の位置付け

「久留米市新総合計画」や「久留米市地方創生総合戦略」、「久留米市行財政改革推進計画」をデジタルの観点で推進するための分野横断的な方針として位置付け

目指す姿

- ① バーチャル市役所の実現**
「手続で書かなくていい」・「窓口で待たなくていい」・「市役所に行かなくていい」の実現
- ② 地域社会のデジタル化**
事業者のデジタル技術活用による事業の高度化など、デジタル化のメリットの享受
- ③ 行政事務の効率化**
デジタル技術を用いた事務の効率化を進め、人手のサービスなどに注力
- ④ 情報システムの標準化・共通化**
国の指定する標準準拠システムへの移行などを進め、財政負担などの軽減

取り組む姿勢

■組織として

① あるべき姿を目指す



常により良いあるべき姿を模索。また、一貫したデジタル処理でサービスを構築し、便益を向上。

② 誰一人取り残されないよう対応する



デジタルが苦手な市民も便益享受の仕組みを検討。または、効率化できた時間を対応に充てる。

③ スモールスタートではじめてみる



全てを一度に実施しようとせず段階的に実施。また、確認と改善を繰り返し、品質を向上。

④ セキュリティ対策を徹底する



多大な被害をもたらす職員の不注意やサイバー攻撃を軽減するようセキュリティ対策を徹底。

⑤ 組織一丸となって取り組む



効率的にサービスを受けられることが重要。所属を超えて協力し、最適なサービスを構築。

■職員として

① 市民目線で取り組む



システム導入ではなく、市民のニーズなどを最優先。利用者が何が必要なのかを考える。

② 事実をしっかりと把握する



データの分析を行い、事実を徹底的に把握。また、民間と融合したサービスなども把握。

③ シンプルなサービスを目指す



容易に理解できて利用できるようにする。利用者の便益を考え、システム化に固執しない。

④ システムは作りこみすぎない



既存システムでの代替などから検討。カスタマイズも極力避け、利用者などの意見も取り込む。

⑤ できない理由よりDXを考える



業務改革とデジタル化の両輪の関係で解決方法を模索。必要な知識などの習得も重要。

目指す姿の実現に向けて

① 組織体制

- ・部局横断的に推進していくため『デジタル政策推進本部』などの設置
- ・部局横断的な課題には、ワーキンググループを設置して対応

② 人材育成

セキュリティ意識の向上やデジタルリテラシーの向上、デジタルマインドの定着に向けて、人材育成室と連携し、自己研鑽の促進や研修などを実施

③ 国の支援策などの活用

国の各種支援制度を積極的に活用するなど、効率的かつ円滑な推進

④ 方針の見直し

デジタル技術の取り巻く環境の変化が速いことなどから必要に応じて本方針を改訂